

社員の方にご覧いただけるよう掲示・回覧いただきますようお願い致します。

回 覧 印												
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

コムス倶楽部通信

VOL357
2025/3月号

★ プレミア会員 変更の手続きは3月28日までに！ ★

4月はコムス倶楽部プレミアム会員の更新月となりますので、届出内容に変更がある場合は、**漏れなく3月28日（金）まで**にご提出下さい。4月中旬頃に年会費の請求書をお送りしますので、お振込みの程よろしくお願ひします。

- * プレミア会員から一般会員への変更 → 『変更届』
- * 一般会員からプレミアム会員へ変更 → 『プレミアム会員加入申込書』
- * 退職・転勤などによる退会 → 『プレミアム会員退会届』



◎コムス倶楽部の概要や「一般会員」・「プレミアム会員」の違いについては、
織商 HP (<https://www.fashion-kyoto.or.jp/event/komsclub.html>)
または右記のQRコードを読み取り、ご確認下さい。



★コムス倶楽部 今後はメール配信にて会報誌をお届けします★

郵送（紙媒体）でのご案内は、今月号をもって終了となります。今後はメールにて案内して参りますので、まだ登録をされていない方は、下記の方法によりご登録をお願いします。（回覧担当の方1名を登録いただき、社内で回覧下さいませ。）

【メール配信の登録方法】

1. 「koms-news@fashion-kyoto.or.jp」宛に、件名を「メール配信登録」とし、
①会社名 ②担当者名 ③受信するメールアドレスを入力の上、お送り下さい。
2. スマートフォンより、右記のQRコードを読み取っていただき、
各項目を入力の上、ご登録下さい。



*引き続き、郵送（紙媒体）でのご案内を希望される場合は、コムス倶楽部事務局までご連絡下さい。

京都織物卸商業組合 コムス倶楽部

〒600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター6階

TEL : 075-353-1010 FAX : 075-353-1013

月曜～金曜 午前9時～午後5時

織商HP
Facebook

<https://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<https://www.facebook.com/koms.orisyo>

★ 会員限定！春のフレッシュコンサートにご招待♪ ★

京都府立府民ホール“アルティ”より、コムス倶楽部会員限定でご招待いただきました！
詳細は同封のチラシをご確認の上、下記のいずれかの方法によりお申込み下さい♪

申込方法 京都府民ホール“アルティ”に 電話 または メール にて直接申込み

((TEL：075-441-1414 メール：hall@alti.org))

- * 「①織商の会員であること」・「②社名」・「③お名前」・「④電話番号」・
「⑤希望枚数」をお伝え下さい。(メールの場合は、それぞれ記載下さい。)
- * お一人2枚まで。座席指定。未就学児の入場不可となります。

★ 窓口取扱いチケットのご案内 ★

◎ご利用の際は、コムス倶楽部窓口で『会員証』をご提示の上、お買い求め下さい。

☆ **映画鑑賞券** (TOHOシネマズ、T・ジョイ京都)

プレミアム会員 1枚 1,000円 一般会員 1枚 1,200円

☆ **ガソリンチケット** (1冊券100枚綴・税込) ※令和7年3月1日より

※モリカワ商事(株)のサービスステーション(府内9箇所)で利用できるチケットです。

ハイオク 1冊 19,340円 レギュラー 1冊 18,130円

☆ **展覧会チケット** (◎はチケットの取り扱い期日)

◇ **若きポーランド 展** [京都国立近代美術館] 3月25日～6月29日 ◎会期終了まで

販売価格	一般	1,680円	大学生	840円	高校生	380円
当日価格		2,000円		1,100円		600円

◇ **パウル・クレー 展** [兵庫県立美術館] 3月29日～5月25日 ◎会期前日まで

販売価格	一般	1,680円	大学生	1,210円	
当日価格		2,000円		1,500円	

◇ **逆境回顧録 大カイズ 展** [大阪南港ATCギャラリー] 4月5日～5月11日 ◎5月7日まで

販売価格	一般	1,680円	高大生	1,210円	小中生	280円
当日価格		2,000円		1,500円		500円

◇ **ジャンニミッシェル・フォロン 展** [あべのハルカス美術館] 4月5日～6月22日 ◎会期前日まで

販売価格	一般	1,590円	大高生	1,210円	中小生	280円
当日価格		1,900円		1,500円		500円

◇ **草間彌生 展** [京都市京セラ美術館] 4月25日～9月7日 ◎会期終了まで

販売価格	一般	1,860円	大高生	1,120円	中小生	470円
当日価格		2,200円		1,400円		600円

◇ **特別展 和食 展** [京都文化博物館] 4月26日～7月6日 ◎5月7日

販売価格	一般	1,440円	大高生	1,080円	中小生	360円
当日価格		1,800円		1,400円		600円

隠岐彩夏 × 矢部達哉 × 横山幸雄

3人のトップアーティストによる

春のプレシヤスのコンサート

soprano

隠岐 彩夏
Ayaka Oki

夢にまでみた
究極の美声。

violin

矢部 達哉
Tatsuya Yabe

© Michiharu Okubo

© T.Tairadate

Program

シューベルト: のぼらD257、ますD550、至福D433

ショパン: バラード 第1番ト短調 Op.23

R.シュトラウス: 四つの最後の歌

休憩

マスネ: タイスの瞑想曲

ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタト短調

横山幸雄: アヴェ・マリアーバッハ=グノーの主題による即興

木下牧子: ほんとにきれい

木下牧子 / Trans. By Y. Yokoyama: 竹とんぼに

横山幸雄: 静かな夜に

アーレン: 虹の彼方に

● 隠岐彩夏 ● 横山幸雄 ● 矢部達哉

※曲、演奏順など変更になる場合がございます。予めご了承ください。

piano

横山 幸雄
Yukio Yokoyama

© アールアンフィニ

2025 4 | 26 土 14:00開演
(13:30開場)

京都府立府民ホール“アルティ”

隠岐彩夏 × 矢部達哉 × 横山幸雄

3人のトップアーティストによる 春のプレシャスコンサート

声によるストラディバリウスのように——全身を優しく包み込むクリスタルな歌声と、
限りなく美しく、深く、心に響くピアノとヴァイオリンの音色。春の京都に降り注ぐ、奇跡のようなプレシャスコンサート。



© Y.Hanai

ソプラノ 隠岐 彩夏 Ayaka Oki, soprano

歌曲やオラトリオに幅広いレパートリーを誇り、多くのコンサートでソリストを務めるソプラノ歌手。その清冽かつ印象的な声は、聴衆の心を捉えて離さない。青森県出身。岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士、博士後期課程修了。文化庁新進芸術家海外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。友愛ドイツ歌曲コンクール第1位、文部科学大臣賞受賞。日本音楽コンクール声楽部門第1位、岩谷賞(聴賞)、E.ナカミチ賞を受賞。三菱地所賞、東奥文化選奨受賞。

J.S.バッハ《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》《ロ短調ミサ》《クリスマスオラトリオ》、ヘンデル《メサイア》、ハイドン《天地創造》、モーツァルト、フォーレ、ブラームス、ドヴォルザーク《レクイエム》、メンデルスゾーン《エリヤス》《パウルス》、マーラー《交響曲第4番》等数多くのオーケストラコンサートに出演。インバル指揮東京都交響楽団《第九》、ノット指揮東京交響楽団《第九》にてソリストを務めた。オペラでは《ソロモン》《セメレ》《魔笛》《愛の妙薬》《ラボエム》等出演。23年に初のソロアルバム『愛しの夜』(キングレコード)をリリース。矢部達哉、横山幸雄両氏と共演したこのアルバムは「レコード芸術」特選盤に選出される。2025年から生まれ故郷の青森でスタートする「青い海と森の音楽祭」(芸術総監督:沖澤のどか)の音楽主幹に就任した。



ピアノ 横山 幸雄 Yukio Yokoyama, piano

© ZIGEN

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞以来、数々の賞を受賞。特にショパンとベートーヴェンに深い造詣をもち、自ら企画する「入魂のショパン」は、ギネス記録に認定されるなど前人未踏のプロジェクトを次々と成功させる。また、2027年ベートーヴェン没後200年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」の開催や「4 大ピアノ協奏曲」の一角演奏といった取り組みなどに加え、近年は自身の作曲作品の出版や、協奏曲の弾き振りを含めて指揮者としても大成功を取めるなど、活動の場をさらに広げている。また京都と東京にレストランをオープンし、音楽と旬の食をテーマに新しい音楽の楽しみ方を提供。数々の音楽大学で客員教授として教鞭をとり、教育者、音楽プロデューサーとしても活躍。故中村絢子女士の遺志を引き継ぎ、日本パデレフスキ協会会長を務めている。

オフィシャルサイト <https://yokoyamayukio-official.bitfan.id>



ヴァイオリン 矢部 達哉 Tatsuya Yabe, violin

© Michiharu Okubo

洗練された美しい音色と深い音楽性によって、日本の楽壇のリーダーとして最も活躍しているヴァイオリニストの一人。桐朋学園ディプロマコース修了後、90年22歳の若さで東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターに抜擢され現在に至る。97年、NHK「あぐり」のテーマ演奏で大きな反響を呼ぶ。室内楽、ソロでも活躍し、朝比奈隆、小澤征爾、若杉弘、フルネ、デブリースト、インバル、ベルティニ、A・ギルバート等の著名指揮者と共演。2009年、音楽の友4月号では、読者の選んだ「私の好きな国内オーケストラのコンサートマスター」で1位に選ばれ、2016年文藝春秋2月号で「日本を元気にする逸材125人」の一人に選ばれている。94年度第5回出光音楽賞、平成8年度村松賞、96年第1回ホテルオーケラ音楽賞受賞。ソニークラシカル、オクタヴィア・レコード、キングレコードよりCDが発売されている。トリトン晴れた海のオーケストラコンサートマスター、毎年開催されている三島せせらぎ音楽祭アンサンブルメンバー代表。

入場料 (全席指定・税込) 一般 5,500円(5,000円) 学生(25歳以下) 3,000円(2,500円)
※未就学児は入場不可 ※()はアルティメイト会員価格 ※当日は各500円アップ

公演詳細はこちら



チケット取扱

京都府立府民ホール“アルティ”…………… 075-441-1414
チケットぴあ…………… <https://t.pia.jp>(Pコード:287-191)
ローソンチケット…………… <https://l-tike.com>(Lコード:57246)

アルティオンラインチケット 24時間購入可能 (要事前登録)
<https://p-ticket.jp/t-alti>
※チケット販売ページが新しくなります。以前よりご利用の方は、ログイン時にご登録済のメールアドレスをご利用ください。恐れ入りますが、パスワードは再設定をお願いいたします。



チケット発売日

アルティメイト先行発売:
2025年1月18日(土) 10時~
一般発売:2025年1月25日(土) 10時~

京都府立府民ホール“アルティ”

〒602-0912 京都市上京区龍前町590-1

TEL: 075-441-1414 (9時~18時)

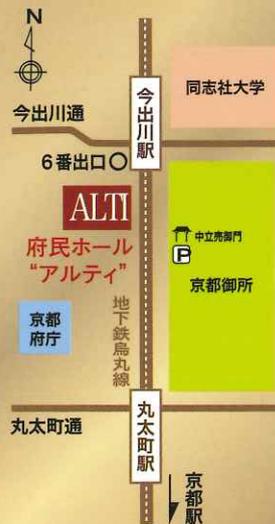
休館日: 第1・3月曜日(祝日の場合は翌平日休館)、12/28~1/4

メール: hall@alti.org アルティ公式HP <https://www.alti.org/>



京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅
6番出口より徒歩約5分

※駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。
※バイク・自転車置き場はございます。



YOUNG POLAND
1890-1918
Polish Art

若きポーランド

「色彩と魂の詩^{うた} 1890-1918」

情熱、
未だ滅びず

2025年3月25日(火)ー6月29日(日)

開館時間：10時-18時(金曜日は20時まで) ※入館は閉館の30分前まで
休館日：月曜日(ただし5月5日は開館)

主催：京都国立近代美術館、タクト、国立博物館、NHK京都放送局、NHKセンター、ブライズ近畿、京都新聞
名誉後援：ポーランド共和国文化・国家遺産大臣 後援：ポーランド共和国外務省、日本外務省
協力：ポーランド広報文化センター 制作協力：NHKプロモーション

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

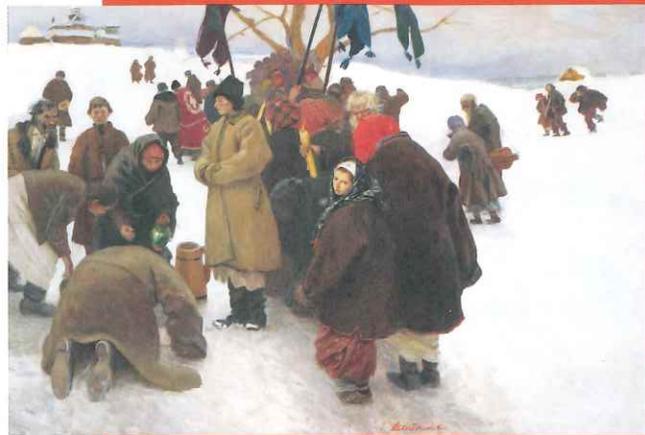




1795年、ロシア・プロイセン・オーストリアによる分割以降、123年の間独立を失ったポーランド。国を失った人々が自らのアイデンティティの拠り所としたのが、芸術そして文化でした。その中心地として重要な役割を果たしたのが、古都クラクフです。19世紀後半、ポーランドの歴史や文化的逸話を大きなスケールで描き名声を博したのがヤン・マテイコです。クラクフ美術学校校長を務めた彼のもとからは、数多くの若き芸術家たちが巣立ちます。彼らは、祖国の独立を願いつつ、そこに自らの心情を結びつけ、象徴性に富み色彩豊かな独自の芸術を広い分野で展開しました。〈若きポーランド〉と呼ばれた彼らは、同時代の西欧の美術や浮世絵などの日本美術を貪欲に吸収しつつ、地方に残る伝統文化を発見・再解釈しながら、ポーランドの「国民芸術」の在るべき姿を模索しました。本展では、マテイコを前史とし、〈若きポーランド〉が生み出した芸術を包括的に、日本で初めて紹介します。

本展はクラクフ国立博物館の全面的な協力のもと、クラクフ国立博物館を筆頭に、ワルシャワを含む複数の国立博物館や多くの個人所蔵家から招来した、マテイコそして〈若きポーランド〉の数多くの絵画ならびに版画、家具やテキスタイルなどの工芸品を含む約130点によって、前世紀転換期に花開いたポーランド美術の真髓をご覧ください。

In 1795, Poland lost its independence for a period of 123 years after the nation was partitioned between Russia, Prussia, and Austria. The people, who had lost their country, turned to the arts and culture as a source of identity. It was the ancient capital city of Kraków that played a significant role as a cultural centre during this period. In the latter half of the 19th century, Jan Matejko earned fame by depicting Poland's history and cultural narratives on a grand scale. Numerous young artists emerged from his tutelage at the Kraków Academy of Fine Arts. These artists, while yearning for the independence of their homeland, intertwined their personal feelings with this desire, creating unique artistic expressions rich in symbolism and tonality across a wide range of fields. Known as the "Young Poland" movement, these artists avidly absorbed Western art of the era as well as ukiyo-e and other forms of Japanese art, while rediscovering and reinterpreting what remained of local traditional culture to explore what the national art of Poland should be. This exhibition is the first comprehensive introduction in Japan of the art created by the "Young Poland" movement, preceded by the influential work of Matejko. This exhibition is held with the full cooperation of the National Museum in Kraków and is supported by a grant from the Ministry of Culture and National Heritage of Poland. It features some 130 pieces, including numerous representative paintings, prints, furniture, and textiles by Matejko and the "Young Poland" movement, gathered from several national museums, including those in Kraków and Warsaw, and many private collections. Visitors will be able to see the essence of Polish art that blossomed at the turn of the last century.



- ① オルガ・ボズナンスカ《菊を掲ぐ少女》
1894年、クラクフ国立博物館蔵
Olga Boznańska
Girl with Chrysanthemums
1894, National Museum in Kraków
- ② ヤツェク・マルチェフスキ《春》
1898年、クラクフ国立博物館蔵
Jacek Malczewski
Spring
1898, National Museum in Kraków
- ③ テオドル・アクセントーヴィチ《ヨルダンの祝祭》
1895年、ワルシャワ国立博物館蔵
Teodor Axentowicz
Feast of Jordan
1895, National Museum in Warsaw

本展は、ポーランド共和国文化・国家遺産省の助成を受けて実施します。
Co-financed by the Ministry of Culture and National Heritage of the Republic of Poland.
本展は、EXPO2025大阪関西万博ポーランドパビリオン関連イベントの一環として開催します。
Project within the framework of the accompanying events of Poland Pavilion at Expo 2025 Osaka, Kansai.



【音声ガイド】
〈若きポーランド〉の芸術家たちが残した数々の作品と文化の動き、その奥深い歴史をわかりやすくご紹介します。
会場レンタル版：貸出料金 650円
アプリ配信版：配信料金 650円 (iOS/Android)

ナビゲーター：
岡本信彦さん(声優)

【見どころ……】

- ポーランドの美術、その真髓を知る機会
- ポーランドと日本、知られざる深い関わり
- 約9割の展示作品が日本初公開!

展覧会公式サイト
<https://youngpoland2025.jp/>



京都国立近代美術館

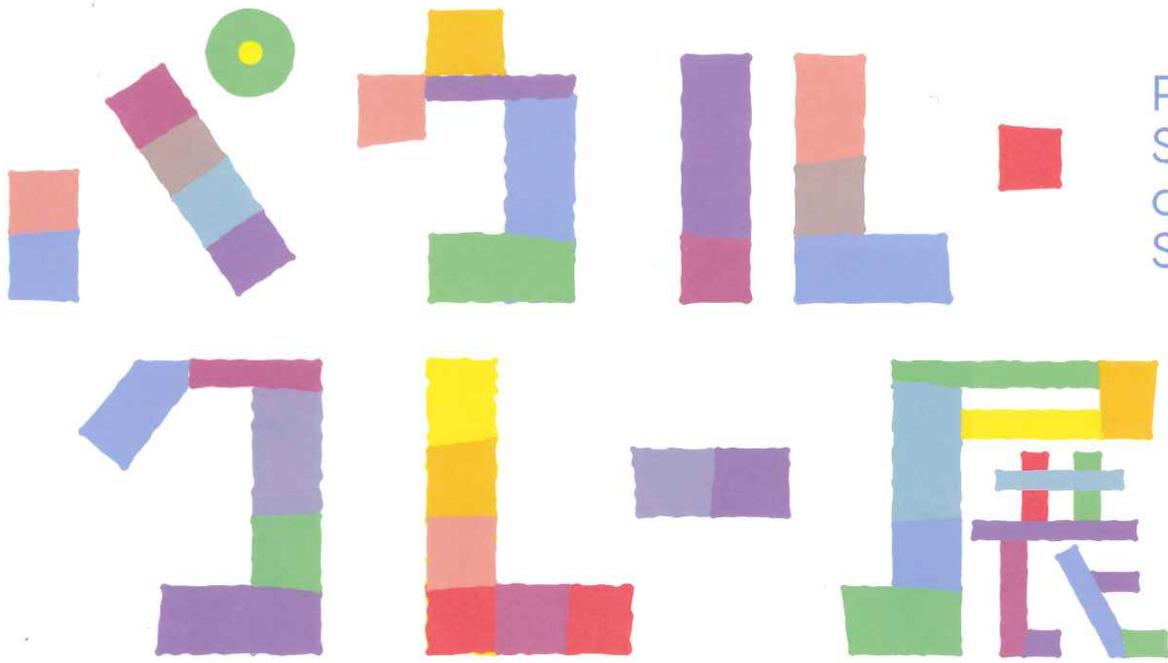
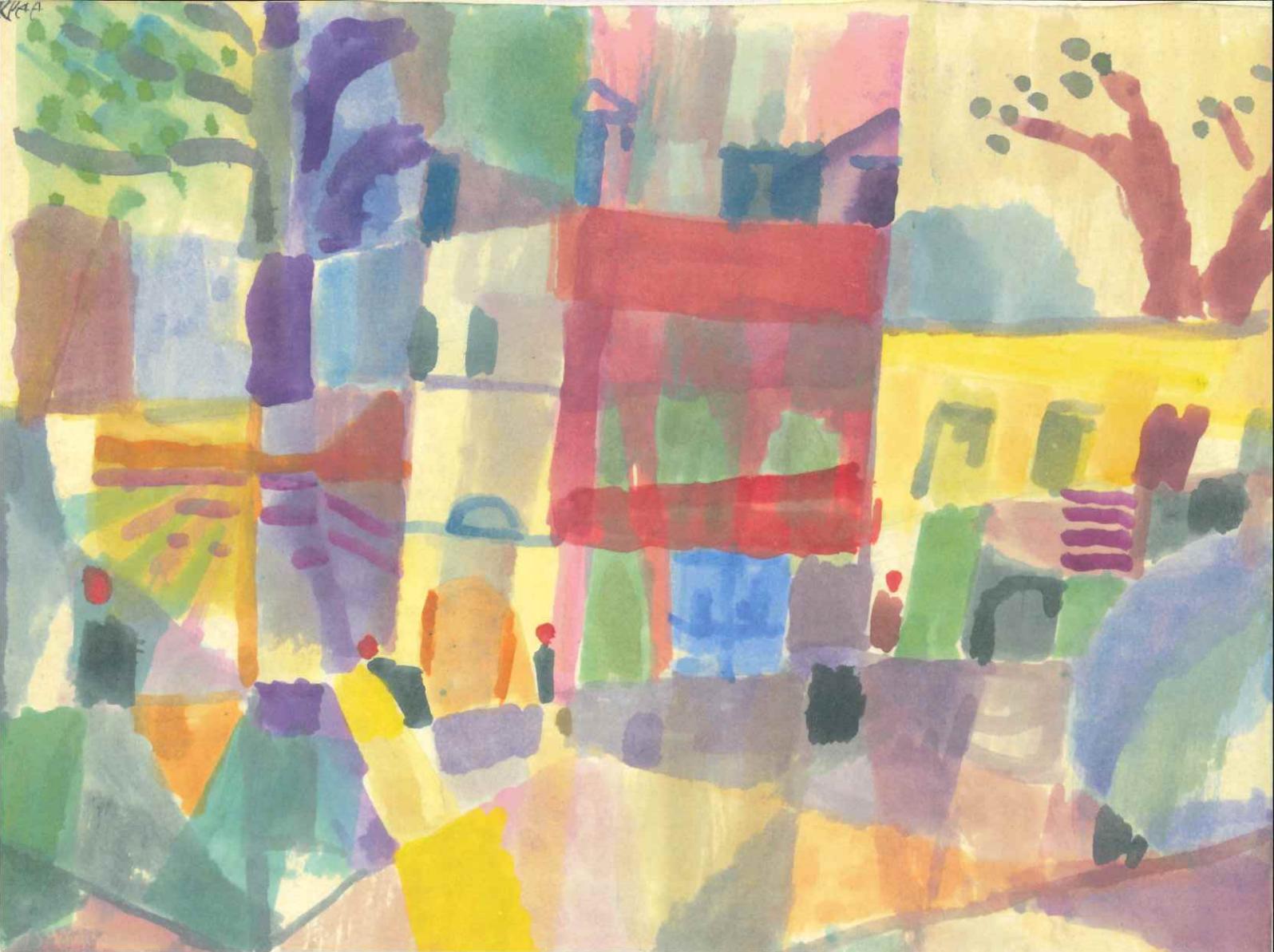
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
075-761-4111 <https://www.momak.go.jp/>



観覧料＝一般 2,000円(1,800円)、大学生 1,100円(900円)、高校生 600円(400円)
※()内は前売と20名以上の団体料金
※中学生以下、ひとり親家庭の世帯員の方、心身に障がいのある方とその付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください) ※本料金でコレクション展もご覧いただけます。
※前売券は1月23日(木)～3月24日(月)までの限定販売
主な販売場所＝美術館公式オンラインチケット、チケットぴあ[Pコード: 687-145]、ローソンチケット[Lコード: 56823]、CNプレイガイド、セブンチケット、京都新聞文化センターほか

〔交通アクセス〕
● 京都市バス(岡崎公園美術館平安神宮前)下車すぐ、岡崎公園ロムンアター京都みやこめっせ前)下車徒歩約5分
● 東山(一条・岡崎公園口)下車徒歩約10分
● 地下鉄東西線(東山駅)下車徒歩約10分
※当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。
※岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(台につき1回)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください。

至出町柳	神宮丸太町駅	平安神宮	丸太町通
鴨川	冷泉通	美術見聞館 ロムシアター京都	岡崎公園 駐車場
京阪電車	みやこめっせ 京都国立近代美術館	京都市 京セラ美術館	二条通 京都市動物園
三条駅 三条京阪駅	地下鉄東西線 東山駅	至六地蔵、びわ湖浜大津	仁王門通
至淀屋橋・ 中之島	東大路通	神宮道	三条通 岡崎通



Paul Klee,
Solitary
and
Solidary

創造を
めぐる
星座

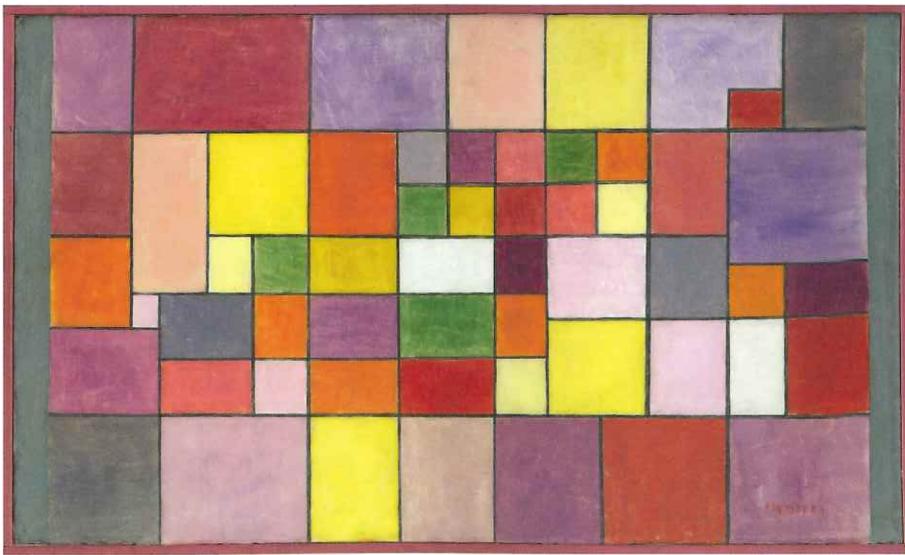
パウル・クレー
20世紀美術に燦然と輝く
スターたちとの共演!

2025 3.29 sat → 5.25 sun

開館時間=10:00-18:00 [入場は閉館30分前まで]
休館日=月曜日[5月5日(月・祝)は開館、7日(水)は休館]
主催=兵庫県立美術館、産経新聞社、関西テレビ放送 協賛=DNP大日本印刷、
アイシン、公益財団法人伊藤文化財団 学術協力=パウル・クレー・センター
特別協力=東京国立近代美術館、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

兵庫の館
兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

Zentrum Paul Klee
Bern
The exhibition has been
organized in cooperation with
the Zentrum Paul Klee, Bern.

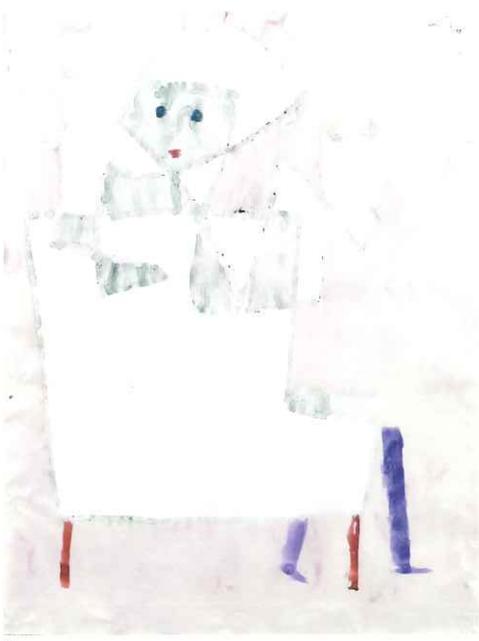


“この世では、私を理解することなど決してできない。
なぜなら私は、死者たちだけでなく、
未だ生まれざる者たちとも一緒に住んでいるのだから。”

パウル・クレー(1879-1940)のこの言葉は、1920年にクレーの作品を売り出した画廊の販売戦略に用いられて、孤独に瞑想する芸術家としての彼のイメージを広めました。たしかにクレーの作品は謎めいているかもしれませんが。しかし、同じ時代を生きたほかの多くの前衛芸術家たちと同様に、クレーもまた、仲間たちと刺激を与え合ったり、夢を共有したりしながら、困難な時代を生き抜いたひとりの人間でした。



クレーは、人生の根源的な悲劇性と向き合いながら、線と色彩によって光を呼び起こし、抽象のなかに生命のエネルギーを描き出しました。その作品は、歴史的な文脈のなかに置かれることで、また新たな姿を見せることでしょう。本展では、スイスのパウル・クレー・センターの学術協力のもと、クレーと交流のあった芸術家の作品との比較や、当時の貴重な資料の参照を通じて、多くの人や情報が構成する星座=コンステレーションのなかでクレーを捉え直し、その生涯にわたる創造の軌跡をたどります。



1.《北方のフロアのハーモニー》1927年 パウル・クレー・センター(リヴィア・クレー寄贈品) / 2.《赤、黄、青、白、黒の長方形によるハーモニー》1923年 パウル・クレー・センター / 3.《熱帯の花》1920年 パウル・クレー・センター / 4.《チェュスの赤い家と黄色い家》1914年 パウル・クレー・センター / 5.《腰かける子ども》1933年 宇都宮美術館 ※4月29日から展示 / 6.《横の踊り》1923年 愛知県美術館 / 表面作品:《チェュスの赤い家と黄色い家》(部分)1914年 パウル・クレー・センター ※作品はすべてパウル・クレー作品

音声ガイド

貸出料金:1台700円(税込)

本展のナビゲーターに、声優・伊東健人が決定!
作品鑑賞のポイントなど、展覧会の魅力をお伝えします。

展覧会ナビゲーター
伊東健人(声優・歌手)



【推しの子】(ゴロー役)、マイホームヒーロー(間島恭一役)、アイドルマスター-SideM(裕道夫役)、刀剣乱舞-ONLINE-(桑名江役)をはじめ、アニメ、ゲーム、テレビ、ラジオで幅広く活躍。そのほか歌手としても活動。

関連イベント

●学芸員による解説会

2025年4月13日(日)、4月29日(火・祝)、5月18日(日)
いずれも15時30分より

場所:レクチャールーム(定員80名・先着順・聴講無料)

●ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日11時より(約15分)

場所:レクチャールーム(定員80名・聴講無料)

●こどものイベント

▶上記詳細や、追加イベントのお知らせは、美術館公式サイトでお知らせします。

「みんなの鑑賞ガイド」をご用意しています。



展示室内一部 写真撮影OK!

同時期に開催の展覧会

●2025コレクション展I

●ベスト・オブ・ベスト2025

●特集 中山岩太

【横尾忠則現代美術館で開催】

●横尾忠則の人生スゴロク展

2025年1月17日(金)ー5月6日(火・

2025年4月24日(木)ー12月14日(日) 振休)

Opening Hours 10:00ー18:00(Entry until 17:30)

Closed days Monday(May 5th is open, May 7th is closed.)

【観覧料】

	当日	団体	前売
一般	2,000円	1,600円	1,800円
大学生	1,500円	1,200円	1,300円
高校生以下	無料	—	—
70歳以上	1,000円	800円	—
障害者手帳等をお持ちの方(一般)	500円	400円	—
障害者手帳等をお持ちの方(大学生)	350円	300円	—

美術館公式



【チケット販売場所】

公式オンラインチケット、チケットぴあ(Pコード:687-122)、ローソンチケット(Lコード:55615)、セブンチケット(セブンコード:108-424)、イープラス、CNプレイガイド、アンビュール、楽天チケット、兵庫県立美術館ミュージアムショップ、近鉄駅営業所ほか
●前売販売期間:2024年12月19日(木)10:00から2025年3月28日(金)23:59まで
●一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください ●障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料 ●コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります)
●事前予約前ではありません。
●団体は20名以上。団体鑑賞をご希望の場合は1か月前までにご連絡ください。

兵庫展公式



クレー展 兵庫IQ



【交通案内】阪神若屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分。JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分。阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分。JR三ノ宮駅から神戸市バス(29-101系統)「県立美術館前」下車すぐ。地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。

兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]
TEL.078-262-1011(代) https://www.artm.pref.hyogo.jp/

逆境回顧録

カイン

待ち受けるのは

絶望か、破滅か……

血沸き肉躍る
悪魔的狂宴!!

カイジシリーズに登場する極限の勝負を振り返るっ……!!

- 「限定ジャンケン」
- 「鉄骨渡り」
- 「Eカード」
- 「ティッシュ箱くじ引き」
- 「焼き土下座」
- 「地下チンチロリン」
- 「沼」
- 「17歩」
- 友情確認ゲーム「救出」
- 「ワン・ポーカー」

希望への突破口をこじ開ける

負け続けた男の
人生が逆転する……!!

金か、命か、尊厳か……!!
亡者が悶え墮ちる
連鎖する地獄……!!

裏切り、
墮落、
全てが
暴かれる

2025

4/5(土) ▶ 5/11(日)

大阪南港ATCギャラリー

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ニュートラムトレードセンター前駅下車すぐ

【主催】産経新聞社、関西テレビ放送 【特別協力】ATC 【協力】ヤングマガジン 【原作】福本伸行
【企画】逆境回顧録大カイジ展 巡回プロジェクト委員会

平日 13:00~18:00

土・日・祝 10:00~18:00

※4月28日~5月2日の期間は10:00~18:00
※最終入場は閉館の30分前

最新の情報は大阪展公式HPをご確認ください。

カイジ展 カンテレ

問い合わせ:050-1724-4681

会期中無休



©福本伸行 / 講談社

「カイジ」シリーズについて……!!

1996年に「週刊ヤングマガジン」で連載が開始された福本伸行による大人気漫画「カイジ」シリーズは、多額の借金を抱えてしまった主人公・伊藤開司(カイジ)が生死を賭けたギャンブルに挑んでいくギャンブル漫画の金字塔です。作品オリジナルのギャンブルと、独自の表現によって描かれる極限の心理戦が読者を魅了し、2023年10月時点のシリーズ累計発行部数は3,000万部を超えています。(現在も「週刊ヤングマガジン」にてシリーズ最新作「賭博墮天録カイジ 24億脱出編」連載中) これまでに多様なメディアミックス展開を行っており、テレビアニメでは2007年に「逆境無頼カイジ Ultimate Survivor」、2011年に「逆境無頼カイジ 破戒録篇」が放送されました。また、2009年から2020年にかけて、「カイジ 人生逆転ゲーム」「カイジ2 人生奪回ゲーム」「カイジ ファイナルゲーム」のタイトルで実写映画も3本公開されています。さらに、魅力的なキャラクターに焦点をあてたスピンオフ漫画「中間管理録トネガワ」「1日外出録ナンチョウ」「上京生活録イチジョウ」も連載されるなど、幅広い展開でファンに愛されています。

圧倒的 フオトスポット

「鉄骨渡り」「焼き土下座」はもちろん、限定じゃんけんの敗者に焼き印をつけて収容するエスポワール号内の別室「敗者の部屋」、カイジのロン牌を麻雀卓上に再現した「17歩」や「愛よりも剣」や「友情確認ゲーム」が圧倒的フオトスポットとして登場……!クラウドファンディング達成により制作された実物大の帝愛裏カジノのパチンコ発台「沼」とともに、「カイジ」シリーズの世界を悪魔的に堪能できる展示が大集結……!!



入場者全員 チンチロリン

入場者全員挑戦……チンチロリン……!! 出た目に応じて、地下労働施設内の通貨「ペリカ」を贈呈……!!いつか地下労働施設に収容されたときに使える……!? 張らせてもらうぜ……!! 限界を超えてっ……!!

※出目によってはペリカがもらえない場合がございます



入場者全員チャレンジ!!

チンチロリン

役物	出目順位表	金額
1000P (1000)	5,000ペリカ	5,000ペリカ
3000P (3000)	3,000ペリカ	3,000ペリカ
2000P (2000)	2,000ペリカ	2,000ペリカ
1000P (1000)	1,000ペリカ	1,000ペリカ
目なし (0)	0ペリカ (お渡し無し)	0ペリカ (お渡し無し)

他の取り決め
 ① 本ゲームは1人参加です。1回限り。
 ② サイコロは1回だけ振ります。1回のみの振ることとなります。
 ③ ショパンしたサイコロが使用された場合は、もう振れない。その場合は、目無しと同等とみなし、ペリカはお渡し無し。

グッズ販売

大カイジ展の開催を記念して、展示会のグッズが盛りだくさん!!さらに、大阪会場限定グッズも登場……!とても……正気の沙汰とは思えない……!

物販エリアにて、4,000円(税込)以上お買い上げで「ティッシュ箱くじ引き」に1回挑戦可能……! 「○」を引けばグッズ購入金額をその場で全額キャッシュバック……! ※レシートの合算は不可。※1会計あたりのキャッシュバック上限金額は10万円。

チケット料金(税込)	一般	高大生	小中生	一運托生チケット(ペア)
当日券	2,000円	1,500円	500円	3,300円
前売・団体券	1,800円	1,300円	300円	※必ず2人での入場。※2名のうち1名がチンチロリンを実施。友達に連帯をゆだねよう。

特典付き チケット

※限定数に達し次第終了

限定デザインTシャツ
付きチケット
白・黒 サイズ各M-L
6,900円(税込)



「大阪会場限定」オリジナルグッズ付きチケット
チンチロリンぶりシゴロ裏&ピンコロ裏付き
7,777円(税込) ※アンソニー1限定にて販売



チケット購入方法

2025年2月22日(土)10:00~発売

【主なチケット販売場所】

アンソニー、チケットぴあ(Pコード:995-338)、ローソンチケット(Lコード55638)、イープラス、セブンチケット、CNプレイガイド、楽天チケット、イーティックスオンラインチケット、アニメイトなど
 ※未就学児入場無料 ※団体は、20名様以上 ※前売券の販売は、2/22(土)10:00~4/4(金)23:59まで
 ※障がい者手帳、精神障がい者保険福祉手帳、療育手帳をご提示の方は本人及び介助者1名まで当日料金の半額(要証明)
 ※混雑時には入場制限を行う場合がございます。
 ※最新の情報、またはご来場前の注意事項など公式サイト及び大阪会場公式サイト、大阪会場公式X等で確認の上ご来場ください。

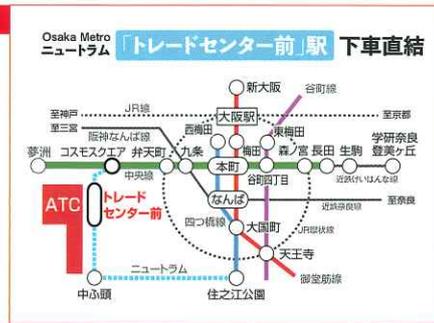
会場アクセス

大阪南港ATCギャラリー

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

■地下鉄・ニュートラム利用の場合
梅田・本町・心斎橋・なんば方面より
Osaka Metro中央線「本町」からコスモスクエア経由で約18分
※Osaka Metro四つ橋線「住之江公園」から約16分「トレードセンター前」駅直結

■JR利用の場合
JR大阪・天王寺方面より
環状線「弁天町」駅からOsaka Metro中央線に乗り換え
コスモスクエア経由で約15分「トレードセンター前」駅直結



Agency of Imaginary Journeys

FOLON

世界と出会う旅

自分をみつける旅

空想旅行案内人

ジャン＝ミッシェル・フォロン

2025.4.5(土) - 6.22(日)



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

ジャン＝ミッシェル・フォロン 〈いつもとちがう〉(雑誌『ザ・ニューヨーカー』表紙 原画)(部分) 1976年 フォロン財団蔵 ©Fondation Folon, ADAGP/Paris, 2024-2025

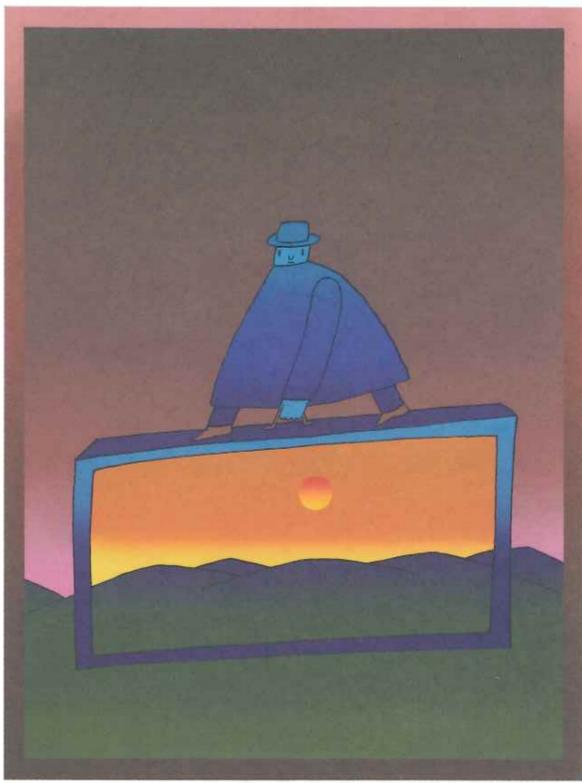
◎休館日: 4月7日(月)、5月12日(月)

◎開館時間: 火-金/10:00-20:00 月・土・日・祝/10:00-18:00 ※入館は閉館30分前まで

◎主催: あべのハルカス美術館、産経新聞社、関西テレビ放送、フォロン財団(ベルギー)

◎後援: ベルギー王国大使館 ◎特別協力: ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)

FONDATION
FOLON



〈無題〉 1974年



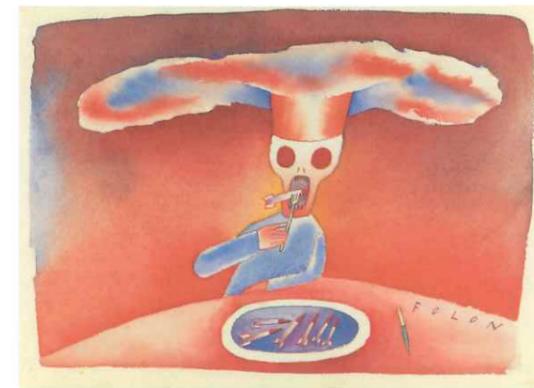
〈無題〉

Agency of Imaginary Journeys

FOLON



〈綱渡り師〉 1973年



〈ごちそう〉 1983年

「絵はなんでもできるんだ。
謎を生み出すことだって。」

名刺
「フォロン 空想旅行エージェンシー」
1990年頃



ここに、1枚の名刺があります。ベルギー出身のアーティスト、ジャン＝ミッシェル・フォロン（1934-2005）が、実際に使用していたものです。そこには、FOLONの名前とともに、AGENCE DE VOYAGES IMAGINAIRES（空想旅行エージェンシー）と記されています。つまり、空想の旅への案内人を、自ら名乗っていたのです。



フォロン、ミラノにて
1968年
（撮影：コレット・ポルタル）（部分）

ベルギーの巨匠マグリットの絵に魅せられ、美術の道を志した彼は、実に多彩な才能を発揮したアーティストでした。アメリカの有名雑誌にドローイングが掲載されたことをきっかけに、その名は世界へと羽ばたいていきます。日本を含め各国で展覧会が開かれ、彼自身も世界中を旅して、その経験を創作のエネルギーとしていました。

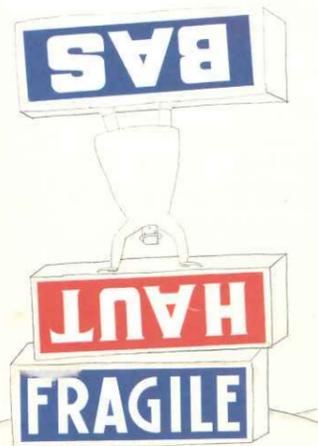
詩的でユーモアに富み、やわらかな色彩とかるやかなタッチで表現されたフォロンの作品は、見る人を空想の旅へと連れ出してくれるとともに、この世界で起きているさまざまなことがらへの気づきをも、もたらしてくれます。この旅を通して、私たちは絵空事ではない世界の現実と向き合い、自分自身をみつめ直すこともできるはずです。



〈無題〉 1983年頃

日本では30年ぶりの大回顧展となる本展では、フォロンが生み出した絵画や写真、ポスター、彫刻やオブジェ、アニメーションなど約230点を一堂に紹介します。道連れの「リトル・ハット・マン」とともに、作品の中の世界を見回し、耳を澄ませてください。そこには、一筋縄ではいかない謎やメッセージが隠れているかもしれません。

想像力をカバンいっぱい詰めこんだら、いざ、出発です！



〈無題〉



〈無題〉

あっち・こっち・どっち？



〈人〉 1992年



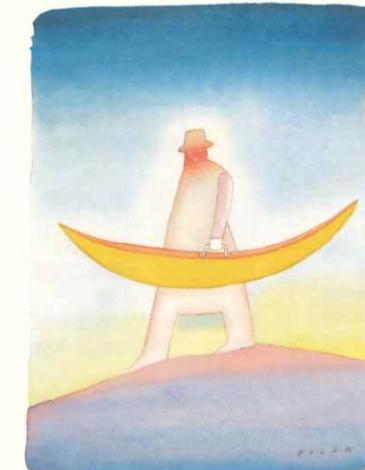
〈無題〉（部分）

〈大天使〉 2003年

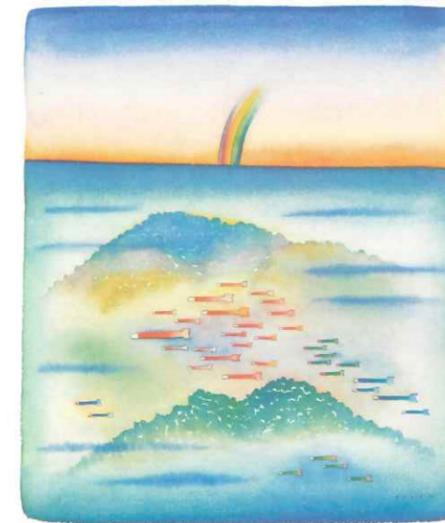


なにを話そう？

〈月世界旅行〉 1981年



DEEP DEEP TROUBLE



GREENPEACE
NUCLEAR FREE SEAS CAMPAIGN

〈グリーンピース 深い深い問題〉 1988年



〈都市のジャングル〉



〈無題〉 1968年頃



〈1番目の考え〉（部分）
1997年



〈「世界人権宣言」第5条のための挿絵原画〉
1988年



（こんにちは）Hello! 1989年【前期展示】©YAYOI KUSAMA

松本市美術館所蔵

草間彌生 版画の世界

反復と
増殖



YAYOI KUSAMA PRINT WORKS: REPETITION & PROLIFERATION

2025

4.25

|FRI|

9

7

|SUN|

京都市京セラ美術館—新館東山キューブ
Kyoto City KYOCERA Museum of Art Higashiyama Cube

本展は前期・後期で作品を全点入れ替えます

前期：4月25日[金]—6月29日[日] 後期：7月1日[火]—9月7日[日]

This exhibition has two installations. All artworks will be changed between the two installations.
Part I: April 25 (Fri.)—June 29 (Sun.), 2025 Part II: July 1 (Tue.)—September 7 (Sun.), 2025

休館日 — 月曜日（ただし 4/28、5/5、7/21、8/11 は開館）

開館時間 — 10:00—18:00（最終入場は 17:30 まで）

Closed on — Mondays (except April 28, May 5, July 21, August 11) Opening Hours — 10:00—18:00 (Last Admission 17:30)

|主催| 朝日新聞社、朝日放送テレビ、京都新聞、京都市 |特別協力| 松本市美術館 |協力| 株式会社草間彌生 |協賛| 阿部出版株式会社



草間彌生、初の大規模版画展!

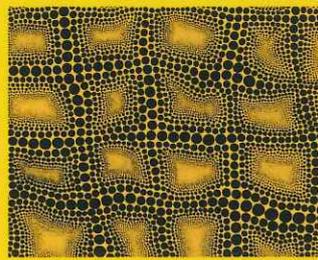
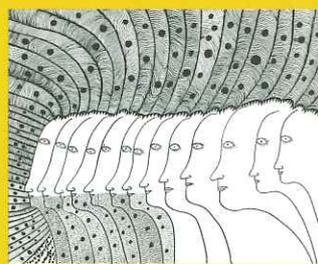
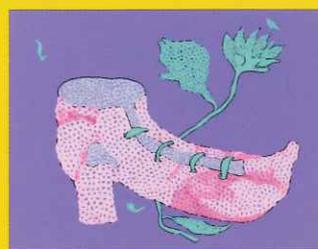
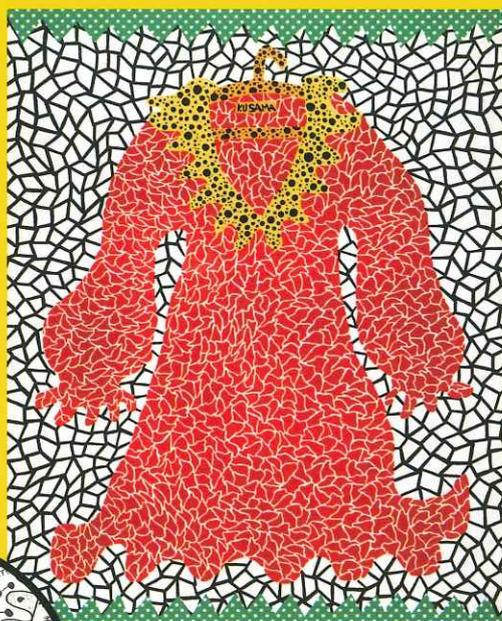


世界的前衛芸術家・草間彌生の版画の世界に焦点をあてた展覧会です。網目や水玉の増殖が創作活動の根幹にある草間にとって、複製芸術である版画との出会いは必然的と言えます。1970年代後半から積極的に取り組んできた版画制作は、現在の評価につながる大きな原動力となりました。本展覧会では南瓜やドレス、帽子など華やかなモチーフが多く登場する初期作品から、近年の木版画による富士山の連作、代表作「愛はとこしえ」シリーズまでを一挙公開。世界最大級の草間コレクションを誇る故郷・長野県の松本市美術館が所蔵する作品に作家蔵を加えた約330点で草間彌生の版画芸術の魅力と軌跡を展覧します。

世界最大級のコレクションから、総数約330点が京都に集結!

YAYOI 草間彌生 KUSAMA

前衛芸術家、小説家。1929年、長野県松本市生まれ。幼少期から水玉や網目を描く。1957年に渡米、ニューヨークを拠点にネット・ペインティング、ソフト・スカルプチャー、鏡や電飾を用いた革新的なインスタレーション作品を発表。1973年に帰国後、美術制作に加え詩や小説の文筆活動も行う。代表作に「無限の網」、「南瓜」、「わが永遠の魂」シリーズなど。2016年文化勲章受章。2017年「草間彌生美術館」開館。



1.《生命は限りもなく、宇宙に燃え上がって行く時》When Life Boundlessly Flares Up to the Universe 2014年【後期展示】、2.《ドレス》Dress 1982年【後期展示】、3.《靴をはいて野にゆこう》Going to the Field with Shoes On 1979年【後期展示】、4.《朝のかがやき(TWHIOW)》Morning Splendor (TWHIOW) 2007年【前期展示】、5.《町Town 1999年【前期展示】 すべて松本市美術館蔵 ©YAYOI KUSAMA ※作品名を(日本語)英語の順に記載

入場料金(税込) 一般 大学・高校生 中・小学生 ペアチケット

当日券	2,200円	1,400円	600円	4,000円
前売・団体券	2,000円	1,200円	500円	3,800円

※未就学児無料(要保護者同伴) ※団体料金は20名以上
 ※障害者手帳等ご提示の方は本人及び介護者1名無料(障害者手帳等確認できるものをご持参ください)
 前売券販売期間:2月28日(金)10:00~4月24日(木)23:59
 販売場所:美術館公式オンラインチケット、展覧会オンラインチケット、アソビュー!、ローソンチケット
 (Lコード:51513)、チケットぴあ(Pコード:687-155)、ABCびあ、e+(イープラス)、CNプレイガイド、セブンチケット(セブンコード:108-979)、ARTPASS、京都新聞文化センターほか

図録・グッズ

展覧会公式図録 3,000円
 表紙は、出品作品「南瓜」と同様の4色展開。
 ※好きな色をお選びいただけます。
 ※4種類とも中面は同内容となります。



展覧会オリジナルグッズ
 ノート:1,980円 トートバッグ:4,950円
 ※価格はいずれも税込み。
 ※会期中の販売状況により図録各色表紙ならびにグッズは品切れとなる場合があります。



「ペアチケット」 一般入場券2枚のお得なセット券です。2名でご来場ならびに1名で2回ご来場の場合でもご利用いただけます。※ペアチケットは美術館チケットカウンター、一部プレイガイドでは販売いたしません。

「グッズ付きチケット」 当日一般 3,200円(前売り3,000円) 絹を素材にした京友禅職人による手染めのスマホ拭き「おふき mini」が付いたお得なセット券です。販売場所:全国のセブン-イレブン店頭マルチコピー機もしくはセブンチケットWebサイト ※予定数量に達次第、販売を終了する場合があります。 ※引換場所:ご来場当日、会場グッズ引換窓口でお引換えください。



音声ガイド 会期中の関連イベント情報は公式サイトをご確認ください。

草間彌生本人の肉声を特別収録
 ナレーション:羽多野 渉(声優) 貸出料金:1台650円(税込み、会場レンタル版)
 音声ガイドには草間彌生本人による自作の詩の朗読、詩に自らの曲をつけ歌うトラックなども収録。充実の内容で、草間ワールドを耳から体感できます。

【アクセス】●電車:地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分。京阪電鉄「三条駅」・地下鉄東西線「三条京阪駅」より徒歩約16分
 ●バス:「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ



京都市京セラ美術館
 Kyoto City KYOCERA Museum of Art

新館 東山キューブ
 〒606-8344 京都市京都市左京区岡崎円勝寺町124
 TEL 075-771-4334
 展覧会公式サイト/Official Website ▶
 @yk_printworks
 @yayoi Kusama_printworks2024_27



知ると、もっとおいしい。



和

特別展

日本の自然、
人々の知恵

Special Exhibition
WASHOKU

Nature and Culture in Japanese Cuisine
— More Delicious with More Knowledge —

食



2025.4.26 sat → 7.6 sun

開室時間 10:00-18:00 (金曜日は19:30まで)
*入場はそれぞれ30分前まで

休館日 月曜日、5月7日(水)
*4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館

THE MUSEUM OF KYOTO

京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp

関西から
文化力

主催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、MBSテレビ
後援：文化庁、農林水産省、和食文化学会、和食文化国民会議、(公社)京都市観光連盟、
(公社)京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都
協賛：キッコーマン、三和酒類 特別協力：国立科学博物館
協力：クックパッド、京都府立大学京都和食文化研究センター、大和学園 京都調理師専門学校

展覧会公式サイト

<https://washoku2023.exhibit.jp/>





「和食」は2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。世界中でますます注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点から紹介します。日本列島の自然が育んだ多様な食材や、人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史の変遷、そして未来まで、身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫ります。

雑煮
レプリカ
制作協力：奥村彰生監修
御食国若狭おばま食文化館



1章

「和食」とは？

和食と聞いて思い浮かぶ料理は人それぞれ。本章では和食の広がりを感じてくれる映像や、世界と日本の食を比較しながら、和食とは何かを考えます。



クロマグロ
実物大模型
国立科学博物館蔵

2章

列島が育む食材

食の基本となる水、魚介類、海藻、野菜、山菜、そしてキノコ。世界でも有数の生物多様性を持つ日本列島がもたらす豊かな食材と、食への飽くなき挑戦によって生み出された発酵の技術や出汁について、科学的な視点で解説します。

知ってる？

日本最長の海藻、ナガコンブ。長さ16メートルの標本を展示！

美しい海藻の押し葉標本にも注目

知ってる？
実はほとんどの野菜が外国原産
おどろきの渡来史や、品種改良による多彩さを紹介



多彩な地ダイコン
レプリカ
国立科学博物館蔵



コウジカビ
顕微鏡拡大写真

知ってる？

発酵と腐敗は同じ！？

和食を支えるスーパー技術「発酵」の仕組みを解説



バカマツタケ
レプリカ
国立科学博物館蔵



マガキ
標本
国立科学博物館蔵



ナガコンブ
標本
国立科学博物館蔵

ゼンマイ
標本
国立科学博物館蔵

インタラクティブな映像展示

魚影にタッチすると、解説が飛び出る！



知ってる？

日本で食べられている魚の種類は世界屈指！

小さいイワシから大きいマグロまで標本や模型を展示



江戸の グルメガイド

大関、関脇、小結・・・
相撲の番付のように
料理屋を格付け

3章

和食の成り立ち

縄文時代から現代まで、人々の知恵やおもてなしの心、海外との交流を通じて発展してきた和食の歴史を紐解きます。

京都会場
オリジナル企画
**祇園祭で將軍は
何を食べた？**

室町時代に將軍足利義晴が
祇園祭見物の時に
食べたという御膳を再現
(模型や写真での展示となります)



足利將軍御膳
再現模型
京都文化博物館蔵



料理屋番付
江戸時代後期
東京家政学院大学
附属図書館蔵
大江文庫蔵

漫画「サザエさん」
(1956(昭和31)年6月13日、朝日新聞掲載)
©長谷川町子美術館

写真も
撮れるよ!

江戸っ子が愛した ファストフードとは？

寿司、天ぷら、そばの屋台が
並ぶ江戸の町に
タイムスリップ

マンガに見る 昭和の食

漫画「サザエさん」を
切り口に、
昭和の台所や
戦後の食卓を紹介

当時の大きさを
再現した
握り寿司(模型)が
屋台に!



和食の真善美

和食とともに発展してきた道具
と料理人の繊細な技術、そして
四季折々の風景と美しい料理の
映像インスタレーションを組み
合わせて、「和食の真善美」を
紹介します。

わたしの和食

時代とともに和食の定義も変化しています。ラーメン、カレー、オムライスなどは和食でしょうか。「これって和食？」のアンケート結果から、改めて和食とは何かを考えます。

これって 和食？

みんなの意見を
リアルタイムで集計



和食のこれから

和食はこれから、どのように変化していくのでしょうか？食に関わる技術は日々進化する一方、郷土料理や伝統野菜の重要性も見直されています。和食は海外へもますます広がっていくでしょう。社会の変化を受けて変わり続ける、和食のこれからを展望します。



応援キャラクター・リラックマのぬいぐるみがいっぱい!



本展限定ぬいぐるみ
※ご購入点数に制限があります。

本展オリジナル
イラスト

©2025 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

ごはんとおやつが大好きなリラックマたちが、和食をイメージした装いで本展を盛り上げます。本展オリジナルイラストの商品や、お弁当など食べ物にちなんだぬいぐるみのほか多数展開します。

※数量限定のため売り切れの場合があります。



音声ガイドナビゲーターは白石麻衣さん!



乃木坂46の卒業後、女優、ファッションモデルとして活躍し、和食好きで料理にも慣れ親しむ白石麻衣さんが、音声ガイドナビゲーターに初挑戦!おいしい「和食」の世界を楽しく案内します。

音声ガイド料金

会場レンタル版
(お一人様1台)

貸出料金 600円(税込)

アプリ配信版「聴く美術」
(iOS/Android)

販売価格 650円(税込)

※配信期間中は展示室外でも視聴可能。
※配信期間は展覧会会期中を予定。

1992年8月20日生まれ。主な出演作にドラマ「風間公親-教場0-」、「オクラ-迷宮入り事件捜査-」、映画「聖☆おにいさんTHE MOVIE-ホーリーメンVS 悪魔軍団-」、「アンダーニンジャ」など。公式YouTube「my channel」はチャンネル登録者数130万人を超えるなど、活躍の幅を広げている。



チケット

(価格はいずれも税込)

入場料金

一般	大高生	中小生
当日券		
1,800円	1,400円	600円
前売/団体(20名以上)		
1,600円	1,200円	400円

※未就学児は無料(ただし、要保護者同伴)。※学生料金で入場の際は学生証をご提示ください。※障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。※上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます(ただし催事により別途料金が必要な場合があります)。※前売券は2025年2月28日(金)~4月25日(金)まで販売(会期中は当日券のみの販売)。

主なチケット販売場所

京都文化博物館、アソビュー!、展覧会オンラインチケット(etix)、ローソンチケット(Lコード:51807)、イープラス、セブンチケット(セブンコード:108-526)、KKDAY、近鉄駅営業所など。

京都会場限定!グッズセット券

A 缶入り京やさい飴セット券

2,000円(税込)

京都・宇治で伝統の京飴を製造する岩井製菓の、京野菜をかたどった手作り飴1缶と入場券1枚のセット。



©2025 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

販売場所: ローソンチケット(Lコード:51807)

販売期間: 2025年2月28日(金)10:00~予定数に達し次第終了

※本展入場券とグッズ引換券が別々に発券されます。両方お持ちください。グッズは会期中に3階特設ショップでお引き換えください。※いずれも画像はイメージです。※A、Bともにグッズは会期中に特設ショップでも販売しますが、数量限定のため完売する可能性があります。本券をお持ちの方は確実に入手いただけます。



B リラックマクリアファイルセット券

2,000円(税込)

和食展応援キャラクターを務めるリラックマの、京都会場限定A4クリアファイル1枚と入場券1枚のセット。

お得な特別チケット

●ペア券 3,000円(税込)

1枚ずつの使用も可能な、2枚一組のチケット。

●おやこ券 1,800円(税込)

子どもとお得に楽しめるチケット。(一般+中小生)

※2名様同時にご入場ください。

販売場所: アソビュー!、展覧会オンラインチケット(etix)、ローソンチケット(Lコード:51807)、イープラス、セブンチケット(セブンコード:108-526)

販売期間: 2025年2月28日(金)10:00~4月25日(金)23:59



和食をモチーフにしたグッズがもりだくさん!

マグネット

各660円(税込)

フードイラストレーター・

植田まほ子さんの和食イラストをあしらったマグネット。



NATURALLY PAINT てぬぐい

1,210円(税込)

和食展をオールドアメリカ風の手描きイラストで表現!



関連イベント

1~4は、いずれも**要事前申込**(申込方法詳細は博物館サイトをご覧ください)。参加無料(ただし本展入場券(半券可)の提示が必要)、定員150人。



1 記念講演会「京都の食文化」

講師: 佐藤洋一郎氏

(本展監修・ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)

対談「和食のこれから」

登壇者: 佐藤洋一郎氏

村田吉弘氏(料亭「菊乃井」三代目主人)

日時: 4月26日(土)10:30~12:00

場所: 3階フィルムシアター

3 復活!SHOGUN御膳 ~足利将軍が食べた料理復元に挑んだ学生たちの記録~

室町時代の将軍足利義晴が祇園祭を見物した際の献立を現代に再現。和食を学ぶ学生たちによる研究の成果を発表します。

登壇者: 伴田祐耶氏(京都調理師専門学校講師)

小林啓治氏(京都府立大学教授)

小川航典氏(京都府立大学大学院食の文化学位プログラム)

東祥太郎氏(京都府立大学文学部和食文化学科)ほか

日時: 6月7日(土)13:30~15:00

場所: 別館ホール

2 トーク「錦市場 ほんまもの魅力」

京の台所・錦市場からお店の方を迎え、京の和食を支える最前線について語ってもらいます。

登壇者: 西川朋宏さん(鮮魚「丸赤木」)

(予定) 宇津康之さん(京漬物「樹屋」)

越智宜子さん(京ゆば「湯波吉」)

日時: 5月31日(土)14:00~16:00

場所: 別館ホール

4 ミュージアムズフォー連携講座 「和食以前~祭礼の供物にみる食文化の変遷~」

講師: 橋本章(京都文化博物館主任学芸員)

日時: 6月14日(土)10:30~12:00

場所: 3階フィルムシアター

5 ギャラリートーク 事前申込不要

参加無料(ただし、当日の入場者に限ります)

日時: 5月16日(金)、6月20日(金)

各日14:00~(30分程度)

場所: 4・3階展示室内



アクセス

京都文化博物館

The Museum of Kyoto

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- 阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- 京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
- JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分



【展覧会公式サイト】 <https://washoku2023.exhibit.jp>

【展覧会公式X(旧Twitter)] @washoku2023

【お問い合わせ(京都文化博物館)] TEL.075-222-0888

【京都文化博物館サイト】 <https://www.bunpaku.or.jp>



展覧会公式サイト